

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

らなるサービスの拡充を次期館長に期待しています。

本学図書館のますますの発展を念じて、結びと致します。

昭和62年度参考図書購入報告

参考図書購入経費（文学部・教育学部・法学部・経済学部の四学部部間共通費、本学共通経費、文部省事項指定参考図書購入費）によって下記の資料を購入しました。（※印は継続購入）

なお、これらの資料は本館レファレンス・コーナーに備え付けておりますのでご利用ください。

A. 所蔵目録

1. 大英博物館所蔵漢籍目録
- ※2. 現行医学雑誌所在目録 1987
- ※3. 医学雑誌総合目録 外国雑誌編 第7版
4. JICST 資料所蔵目録 1986
5. 加州大学バークレー校及びスタンフォード大学所蔵日本政府刊行物目録 1-2
- ※6. 国立国会図書館蔵書目録 昭和44-51年
 - 第2編 第1冊 歴史・地理
 - 第2冊 学術一般・哲学・宗教
- ※7. 国立国会図書館蔵書目録 昭和52-60年
 - 第1編 第1冊 政治・法律・行政・議会・法令資料
 - 第2編 第1冊 歴史・地理
 - 第2冊 学術一般・哲学・宗教
 - 第3編 第1冊 芸術
 - 第2冊 言語・文学
 - 第5編 簡易整理資料・書名索引・著者名索引
- ※8. 新収洋書総合目録 1954-1970. 追補 第3巻-12巻
9. 点字図書館全国総合目録 1980年以前
10. British Library General Catalogue of Printed Books to 1975. Supplement. 1-4.
11. National Union Catalog. 1978.

B. 出版目録

1. あなたはこの本を知っていますか。No. 4
2. 岩波文庫総目録 1927-1987.
3. 官庁刊行図書目録 第25-44号, 別冊
4. 日本年鑑総覧
- ※5. 日本書籍総目録 1987
- ※6. 出版年鑑 1987年版
- ※7. 雑誌新聞総かたろぐ 87年版
- ※8. American Book Publishing Record. Cumulative. 1986.
9. American Reference Books. Annual. Vol. 18.

※10. Библиография Изданий Академии Наук СССР. Ежегодник. Том 29.

※11. Библиография Советской Библиографии. 1985.

※12. Books in Print. 1986-87. Supplement.
1987-88. 7 Vols.

※13. British Books in Print. 1987. 4 Vols.

14. Deutsche Bibliographie. 6 Vols.

※15. Deutsches Bucherverzeichnis. 1971-1973. Tl. 2 Lfg. 41-42.
1978-1980. Tl. 1 Lfg. 28-53.

※16. Ежегодник Книги СССР. 1983. Том 2 Часть 2.
1984. Том 1 Часть 1-2.

※17. Guide to Reprints. 1987.

※18. Irregular Serials & Annuals. 1987-1988.

19. Kuerschners Deutscher Gelehrtenkalender. 1983. 4 Vols.

20. Kuerschners Deutscher Literaturekalender. 1984.

21. The New Book of World Rankings.

※22. Paperbound Books in Print. 1987.

※23. The Publisher's Trade List Annual. 1987. 4 Vols.

※24. Subject Guide to Books in Print. 1987-88. 4 Vols.

※25. Ulrich's International Periodicals Directory. 26th ed.

※26. Verzeichnis Lieferbarer Buecher.
1986/87. ISBN-Register.
1986/87. Ergaenzungsband Fruehjahr.
1987/88. Autoren Title Stichwoerter.
1987/88. ISBN-Register.
1987/88. SchlagWort-Verzeichnis. 4 Vols.

C. 索引・抄録・書評

1. 朝日新聞記事総覧 昭和編 17-20巻, 人名索引
昭和戦後編 4巻, 21-24巻, 人名索引

※2. 日本法令索引 現行法令編 昭和61年9月1日現在

※3. 大正ニュース事典 第3巻, 第4巻

4. 読売ニュース総覧 1984-1986.

5. British Humanities Index. 1980-1985.

※6. Comprehensive Dissertation Index. 5 Vols.

※7. IBN; Index Bio-Bibliographicus Notorum Hominum. Pars. C
Sectio Ameniaca. Vol. 4.
Sectio Generalis. Vol. 41.

8. Index of Conference Proceedings Received. 1984-86.

※9. Index Translationum. Vol. 32.

※10. Internationale Bibliographie der Rezensionen Wissenschaftlicher Literatur. Vol. 16. 1986.

D. その他の書誌書目

1. 朝鮮関係資料目録
2. JICST 科学技術用語シソーラス 1987年版

3. JICST 科学技術シソーラス 1987年版
4. 近代文学研究叢書 第60巻
5. 国立国会図書館分類表 改訂版 1987.
6. 密教関係文献目録 続
7. 南洋関係資料目録
8. 年刊 人物文献目録 1-2.
9. 日本仏教全集叢書資料総覧 全3巻
10. 日本石器時代文献目録
- ※11. 20世紀文献要覧大系 11-B, 16, 18.
12. 琉球関係資料目録
- ※13. 書評年報 1986年 人文・社会・自然編, 文学・芸術・児童編
14. Handbook of International Documentation and Information. Vol. 8.
- ※15. Internationale Bibliographie der Zeitschriftenliteratur. Vol. 22 Pars 2. 6 Vols.
Vol. 23 Pars 1. 6 Vols.
16. MeSH. Subject Headings. 3 Vols.
17. Thesaurus of ERIC Descriptors. 11th ed. 1987.

E. 地図・地名・人物・機関名鑑類

1. 中国合弁企業一覧 (日米欧600社)
- ※2. 大学研究所要覧 1987.
- ※3. 外国会社年鑑 1987.
4. 外資系企業総覧 1987.
5. 現代中国人名辞典 続
6. 現代日本人名録 上・中・下
7. 現代日本科学技術者大事典 第5巻
8. 現代ソ連人名辞典
9. 人物年表シリーズ 昭和期, 大正期人物年表
- ※10. (角川) 日本地名大事典 第42巻
11. 海外進出企業総覧 1987.
- ※12. 会社年鑑 上場会社版 1987, 1988.
- ※13. 会社四季報 62年1-4, 63年1.
14. 会社職員録 全上場会社版 1988. 上・下
15. 会社総覧 1986, 1987.
16. コンサイス外国人名事典
17. コンサイス外国地名事典
18. 明治人名辞典 上・下
- ※19. 日本分県地図地名総覧 昭和63年版
- ※20. 日本地名大辞典 第1巻 上・下
21. 日本の出版社 1988.
- ※22. 日本の図書館 1987年版
- ※23. 日本歴史地名大系 第4巻
24. オンライン・データベース・ディレクトリー 1987.
25. 三百藩々主人名事典 第3巻
26. 世界科学者事典 第3巻-6巻, 別巻

27. 世界企業ダイレクトリー
28. 新聞人名辞典 1-3.
- ※29. 職員録 昭和63年度版 上・下
30. 昭和人名辞典 1-4.
31. 出版文化人名辞典 1-4.
32. 大正人名辞典 上・下
- ※33. 東京都地図地名総覧 昭和63年版
34. 全国弁護士大観
- ※35. 全国大学職員録 国公立大学・私立大学編 1986年版
- ※36. 全国大学職員録 昭和63年版
- ※37. 全国学校総覧 昭和63年版
- ※38. 全国各種団体名鑑 1987.
- ※39. 全国短大高専職員録 1987.
40. American Library Directory. 40th ed. 2 Vols.
41. American Men and Women of Science. 16th ed. 8 Vols.
- ※42. Contemporary Authors. Vol.119-121.
- ※43. Dizionario Biografico degli Italiani. Vol.32.
44. Encyclopedia of Associations. 22th ed. 4 Vols.
45. The International Who's Who. 1987-88.
46. International Handbook of Universities. 10th ed.
- ※47. The National Faculty Directory. 1988. 4 Vols.
48. Neue Deutsche Biographie. Bd. 15.
49. The Serials Directory. Vol.1-3.
- ※50. Wer ist Wer?:Das Deutsch Who's Who. 26 Ausgabe.
- ※51. Who was Who in America. Index. 1607-1985.
- ※52. Who's Who. 1987.
53. Who's Who in Japanese Government. 1987.
54. Who's Who in Science in Europe. 3 Vols.
55. Who's Who in the People's Republic of China.
- ※56. Willings Press Guide. 1987.

F. 百科辞典

1. 青森県百科事典
2. Brockhaus Enzyklopadie. Bd. 1-4.
- ※3. Enciclopedia Espasa. Suplemento. 1983/84.
- ※4. Ежегодник Большой советской энциклопедии. Вып. 31. 1987.
- ※5. The Encyclopaedia of Islam. new ed. Vol.6. Fasc. 101-104.

G. 特定主題事典

1. AI総覧
2. 仏教・インド思想辞典
3. 文化人類学事典
- ※4. 大六法(岩波)
5. 現代日本文学総覧シリーズ 4-6

6. 技術英文を書くための動詞大辞典
7. 本の情報事典
- ※8. 医科学大事典 補巻1, 5.
9. 岩波 FORTRAN 辞典
10. 地震の事典
11. 情報ニューメディア用語集
12. 科学技術と英大辞典
13. 韓国・北朝鮮総覧 1987.
14. 韓国年鑑 1987.
- ※15. 国歌大観(新編) 第5巻
- ※16. 国語年鑑 1987年
- ※17. 国史大辞典 第8巻
18. 教育条約集
19. 日中辞典
20. 日本教育年鑑 1984-1987.
- ※21. 日本のシダ植物図鑑 第5巻
22. 日本随筆辞典
23. ピアノ音楽事典 作品篇 演奏篇
- ※24. 理科年表 昭和63年版
- ※25. 六法全書(有斐閣)
26. 最新中国情報辞典
27. 最新ソ連極東総覧
28. 世界のメディア
29. 世界のニューメディア
30. 社会学事典
31. 新・仏典解題辞典 第2版
32. 新潮日本文学辞典
33. 史籍解題辞典 上・下
34. 総合佛教大辞典
35. タイ日辞典
36. 単位の辞典 改訂4版
37. 邪馬台国研究事典 第1巻
38. 図解コンピュータ百科事典
39. 図説 草木辞苑
40. Information Sources in Science & Technology.
41. McGraw-Hill Encyclopedia of Science & Technology. Vol. 1-20.
42. McGraw-Hill Yearbook of Science & Technology. 1988.
43. The Social Science Encyclopedia.

H. 語学辞典

1. 中国草書大字典 全9巻
2. 中日漢語対比辞典
3. 独和辞典(郁文堂)
- ※4. 古語大辞典 第3巻

5. ベルシャ語辞典
6. 蘭和大辞典
7. トルコ語辞典 続
- ※8. Althochdeutsches Woerterbuch. Bd. 4 Lfg. 3-4.
9. Concise Amharic Dictionary.
10. Esperanto-English Dictionary.
- ※11. Middle English Dictionary. Pt. R6. S1-2.
12. SerboCroatian-English Dictionary.
13. The English Dialect Dictionary. 6 Vols.
14. The World's Major Language.

I. 年 鑑

- ※1. 朝日年鑑 1987.
- ※2. ブリタニカ国際年鑑 1987.
- ※3. 中国年鑑 1987.
- ※4. 時事年鑑 1988年版
- ※5. 河北年鑑 1988.
- ※6. 日本都市年鑑 1987.
- ※7. 世界年鑑 1987, 1988.
- ※8. 図書館年鑑 1987.
- ※9. 読売年鑑 1988.
- ※10. The Europa Year Book. 1987. 2 Vols.
- ※11. The Statesman's Year Book. 124th ed. 1987/88.
- ※12. Whitaker's Almanack. 1987, 1988.

J. そ の 他

1. アメリカ歴史統計 別巻
2. 現代用語の基礎知識 1988年版
3. 国際連合刊行資料利用の手引き [改訂増補版]
4. 公共試験機関課題案内 1987年版
5. 日本国勢図絵 1986, 1987.
6. 理工学文献の特色と利用法
7. サーチャーのための特許制度と特許情報検索
8. 参考図書研究ガイド 増補改訂版
9. ヨーロッパ歴史統計 国家・経済社会 下
10. Abstracts & Index in Science & Technology. 2nd ed.
11. BIOSIS Search Guide. 1987.
12. Day by Day. The 40's. 50's. 60's.
13. The Encyclopedia of American Facts & Dates.
14. A Guide to U. S. Government Scientific Technical Resources.
- ※15. MeSH. Annotated Alphabetic List. 1988.
- ※16. MeSH. Tree Structures. 1988.
17. Official Publications of the Soviet Union & Eastern Europe. 1945-1980.
18. French Official Publications.
19. U. S. Federal Official Publications.
20. U. S. Government Scientific & Technical Periodicals.

第43回東北地区大学図書館協議会総会

昭和63年9月21～22日の両日、東北学院大学中央図書館に加盟49館より67名が参加して開催された。東北学院西山館長、情野学長、常任幹事館東北大学塚本館長より各々挨拶があり、引続き会務報告、一般報告、永年勤続者表彰などののち全体会議に入った。

全体会議では、東北地区内の工業高等専門学校など未加盟の高等教育機関の加盟促進、および学術情報システムへの参加促進などについて熱心な討議が行われ、学術情報システムへの参加については、学情VANのノード館である弘前大学と東北大学が、各大学からの相談窓口館となることとなった。

また、引続き行われた国立大学部会においては、土曜閉庁実施時の図書館サービスの在り方、および学術情報センター目録システム講習会（地

域講習会）の継続等について検討された。土曜閉庁については、可能な限りサービスの低下を来たさないような方策についてなお検討を重ね、相互に情報交換を密にすることの申し合せがなされた。

学情センター目録システム講習（地域講習）については、端末機台数の制約もあり、受講者を学情センター接続館を優先するが、学情センターで行われる目録システム講習並びにデータベース講習にも参加させるよう配慮することを申し合わせると共に、次年度も引続き地域講習会の開催を学情センターに要望することとなった。

本総会は「大学図書館激動期にあって心のネットワークを大事にしたい」との塚本館長の挨拶のとおり活発な論議が行われたことを特筆したい。

昭和63年度東北大学附属図書館職員総合研修会

標記研修会は、さる10月19日（水）午後1時30分より本館大視聴覚室において開催された。今回は、財団法人文化財虫害研究所常務理事の山野勝次氏、東京国立文化財研究所保存科学部生物研究室長の新井英夫氏の両講師を迎え「図書館における書籍のむし・かびと保存の知識」という題で講演が行われた。山野講師は、昆虫学の専門的立場から虫を中心として、書籍を加害する害虫、主な害虫とその被害、さらに防除策等についてスライド資料を利用し、数多くの具体例を示されての内

容深いものであった。続いて新井講師は、微生物カビを専門として、さらに文化財の保存科学という側面から、スライド資料を利用し文化財における被害の現状、および調節紙などの対応策等を、実例を通して非常に興味深く話された。今回の講演は、古文書・書籍など多数の紙質文化財を保有している図書館にとって、保存・管理面から、より一層の深い関心を、再認識させられた大変有益なものであった。両講師に改めて感謝の意を表する次第である。（総合研修委員会）

記念資料室だより

最近、本学出身の日本中世史研究者である大島正隆氏（1909～1944）に関する諸資料が当室に寄贈された。ここに概略を紹介しておくことにする。

大島氏は、東北帝国大学法文学部昭和14年（1939）卒、東北地方中世史の先駆的業績をなした歴史研究者としていまなお高く評価されているとともに、柳田国男に師事し、民俗学の分野で生彩ある研究を発表してきたことでも知られている。第二高等学校出身（理科1組、昭和8年（1933）治安維持法違反の嫌疑により検挙され、退学）。最近大島氏の主要著作を取めた論文集『東北中世史の旅立ち』（そしえて、1987年6月刊）が、伊東信雄先生（1987年4月逝去）をはじめとする遺著刊行グループの手によって上梓され、同氏の学問の骨格やその人となりを窺い知ることができる。

今回当室に寄贈されたのは、①論文集『東北中世史の旅立ち』1冊、②大島正隆氏関係資料、ダンボール1箱分（以上、故伊東信雄先生の御遺志により伊東家寄贈）、大島正隆氏所用地図、1枚（葛西森夫先生寄贈）。なお大島氏に直接関わるものではないが、伊東信雄先生私蔵本、阿刀田令造（二高第9代校長）著『郷土の飢饉もの』1冊も、伊東家から一緒にご寄贈いただいた。以上の品々は、入間田宣夫先生（教養部）にご仲介いただき、樋口を窓口として9月14日に受贈手続き完了。2人とも、大島氏の後輩にあたる。また当室室長・図書館長の塚本哲人先生も、若かりし日に柳田国男のもとで大島氏についての話題に聞きおよんだことがあったといわれる。奇縁といえる。

以下に主な品々を列記しておく。

☆大島正隆『東北中世史の旅立ち』1冊、そしえて刊、1987年6月、A5判326頁

☆手帖3冊（1937、1939、1940年版）

研究室行事、聖書研究関係、史料探訪などに関するメモ多し。

☆歌集『上総の海』1冊、私家版

1938年2月11日、東京神田で開かれた「大島正隆記念会」の会場で配布されたもの。大島氏は療養先の上総勝浦で1944年1月12日に逝去されたが、これは同氏が同地で詠んだ短歌を取めたもの。

☆自筆原稿「葬送に関する二三の報告」

東北帝国大学法文学部、日本民俗学単位レポート（講師柳田国男（1938年1月に提出されている。また柳田自筆の評言が付加されている。

☆自筆原稿「奥州留守氏考」

執筆時期不明。同題の論文が『仙台郷土研究』13巻4号（1943年4月）に発表されているが、それとは内容を異にする未発表原稿。同氏が公表を予告しつつ果たせなかった室町・戦国期の留守氏に関する論の概略が、後半に収められている。

☆資料カード

A6判大のおびただしい量のカードで、史料（中世古文書）筆写、講義ノート、民俗調査のメモなどに利用されている。

☆大島正隆氏所用地図 1枚

宮城・山形・福島3県の20万分の1地図で、朱鉛筆で大島氏の踏査した道が示されている。また裏面には同氏自身の筆になる「東大嶺よりの東望」の図が描かれている。

昭和63年度大学図書館職員長期研修に参加して

書庫掛 嶺 岸 文 男

昭和63年度大学図書館職員長期研修が、文部省、図書館情報大学共催で、7月18～8月5日まで全国の図書館職員37名の参加で開催された。今年度の研修の目的は教育・研究活動の急速な進展に伴い、学術情報の迅速かつ的確な提供が重要になっていることから、職員の資質と能力の向上を図ること、情報提供サービス体制を充実させることであった。

受講の通知が入った時には不安が先にたったが実際に参加してみると、北は北見工大から南は鹿

屋体育大に至る全国の大学から多くの仲間が集まった、和気あいあいの研修であった。充実した講義は勿論のこと、その合間や、夜の自由時間には、それぞれのお国訛りで遅くまで語り合えたことも有意義であった。3週間という短かい期間であったが多くの体験をしたことは、何ものにもかえがたい貴重な財産を得た思いがする。

最後に、御指導してくださいました多くの先生方、又、受講生をお世話して下さいました図書館情報大学の皆様に心から感謝申し上げます。

「今、医学図書館を総点検する」

——第15回医学図書館員セミナー参加記——

医学分館 阿 部 佳 市

標記セミナーは昭和63年8月22日～8月23日の2日間、北海道、旭川医科大学附属図書館で、標記テーマのもとに4つのサブテーマ①利用者サービスとは何か②相互協力と自助努力③情報の収集から提供まで④図書館の管理運営を考えるが設けられた。発表されたタイトルは18であった。

セミナーは4つのサブテーマごとに発表タイトルを分けて1人15分程度の発表時間が与えられ、その後に質疑応答が行われた。

発表のなかで特に興味を引いたのは「医学図書館員の新たな役割」（東京女子医科大学図書館 西岡正行）と「官僚制とプロフェッション」（滋賀医科大学附属図書館 渡邊幸子）がある。前者は米国の "IAIMS (Integrated Academic Infor-

mation Management System)" のなかで医学図書館員の役割を重視し、医学情報のマネージャーとして、また、医学教育の面からは情報の収集、提供の専門家として求められているとして、医学図書館または医学図書館員の新たな役割について問題提起された。後者は特に、現在、国立大学で行われている人事、部課長制度と“渡り鳥人事”の実態と、今日の図書館員の専門性、主題別図書館員の考え方、その実情について述べ、それらが医学図書館と医学図書館員にもたらした問題点を指摘した。また、東北大学の学内 LAN 対応検索システムについて関心が寄せられた。

参加者のテーマをみて、身近な業務の改善から理論まで幅広い発表であった。

第23回医学図書館研究集会に参加して

医学分館 対 馬 庸 二

第23回医学図書館研究集会は昭和63年8月31日より9月2日まで日本医学図書館協会の主催により大阪府守口市の守口プリンスホテルを会場に「これからの医学図書館」をテーマとして開催されました。

プログラムは第1日目、オリエンテーション、

懇話会、2日目、講義、業務担当別意見交換、パーティ、3日目、スポーツ、パネルディスカッション、グループ討議、4日目、発表、まとめ、といったものでした。

研究集会の参加者は37名で、医学図書館経験3年未満が対象のため、経験年数が1～2年の人が

中心で、圧倒的に女性が多数でした。

実行委員の方々の細かな配慮により、参加者全員、非常に良い環境の中で、講義では貴重な話を聞き、自分がいかに不勉強であるかを思い知らされ、グループで夜を徹して話し合い、発表し、なにより、友好を深めることができました。

参加者は同世代の人が多く、日ごろ会うことのない他館の人達と横のつながりをつくることができたことが、研究集会での一番の成果であったと

思います。

この度、私に研究集会に参加する機会を与えてくださいました皆様方には紙面を借りまして、感謝申し上げます。

出発当日、仙台は土砂降りのため日本晴れの大阪を雨傘を片手に歩くには勇気がいりました。また、朝のラッシュの山手線の中で東北新幹線東京駅乗り入れ早期実現を強く思いました。

「阿部次郎と三太郎の日記展」開かる

標記の展示会が昭和63年9月22日（木）より10月18日（火）までの約1ヶ月間に亘って、本館玄関ロビーにおいて開催されました。これは仙台市が昭和60年度より進めていた「歴史と文化の散歩道整備事業」の一環としての「けやきとみやぎのはぎの道」の一部が完成したのを祝って企画されたもので、仙台市博物館、宮城県美術館、それに東北大学附属図書館の三館が同時に開催し、見学者が川内地区の散歩を楽しみながら一度に観覧できるように致しました。本学は川内地区に既に完成している「阿部次郎記念散歩道（三太郎の小径）」の命名の由来となり、大正から昭和にかけて当時の学生によく読まれた「三太郎の日記」の著者、元東北大学教授阿部次郎氏を偲ぶ展示会となったものであります。展示品は氏の著作26点、

研究書・伝記・評伝9点、草稿2点、書簡14点、それに肖像画・写真2点でありました。

期間中は、本学の学生の外、一般からも多数の見学者があり、成功のうちに終了致しました。



年末年始の休館等のお知らせ

本館では本年末及び昭和64年初めに、次のとおり休館又は一部休室します。

○休 館 12月27日（火）から1月4日（水）まで

○開架閲覧室の休室

12月20日（火）から12月26日（月）まで

（配架整備及び雑誌の移動）

なお、12月19日（月）から1月7日（土）までは、平日17時（土曜日12時30分）で閉館します。

人 事 異 動

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
63.10.9	総務課事務補佐員	小 泉 麻 理		辞 職
63.11.1	〃	星 直 美		〃
63.11.12	〃	石 山 恭 子		〃
63.11.14		熊 谷 信 子	総務課事務補佐員	採 用

東北大学附属図書館報「木遣子」
編集委員長 中島 甫 編集委員
発行人 相良侯秀 発行所

第13巻 第3号（通巻第51号）発行日 昭和63年11月30日
佐藤博子、菅沢栄治、佐藤定夫、佐藤博光
東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 222-1800（2403）